

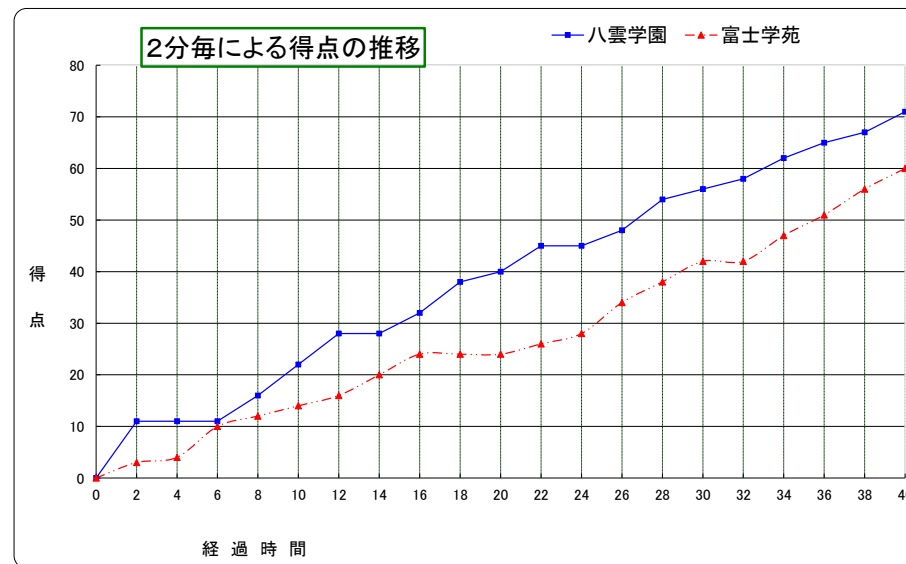
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
毎日興業アリーナ久喜
女子1回戦 C4

チームA	71	{	22	1st	14	}	60	18	2nd	10
八雲学園 (東京)			16	3rd	18			15	4th	18

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー	
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	佐藤 陽香	6	0	1	3	6	0	0	4	0	1	1	2	0	1	
5	奥山 理々嘉	32	1	3	13	24	3	5	4	7	7	1	2	2	4	
6	奥野 聖	10	0	2	4	7	2	5	2	0	0	1	3	1	1	
7	小村 日夏理	8	0	6	4	15	0	2	1	2	6	0	3	2	6	
8	太田 咲里	13	1	2	5	8	0	0	3	3	2	1	3	2	4	
9	奥脇 彩袖子	2	0	2	1	1	0	0	3	0	0	0	1	0	1	
10	太田 清香	0														
11	日塔 愛美	0														
12	宮下 茉侑	0														
13	尾川 菜	0														
14	佐々木 穂奈	0														
15	中島 瞳	0														
16	山中 小梅	0														
17	蒲 ひより	0														
18		0														
コーチ	高木 優子															
		71	2	16	30	61	5	12	17	12	16	4	14	7	17	
		確率	12.5%		49.2%		41.7%			計 28						

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー	
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	戸澤 有美香	22	2	9	4	14	8	10	0	2	4	0	2	0	6	
5	堀内 杏花	6	0	2	2	4	2	3	5	1	3	0	1	0	1	
6	今井 美沙樹	12	1	2	3	11	3	4	3	2	6	0	0	0	2	
7	佐藤 桃子	4	0	0	2	7	0	0	2	3	3	1	1	0	5	
8	三枝 歩美	16	1	2	5	16	3	4	3	2	3	0	0	0	4	
9	山内 佳鈴	0														
10	堀内 あやみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	岩村 芽吹	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
12	志村 梓紗	0														
13	加々美 千尋	0														
14	森 一樹	0														
15	宮下 ナギサ	0														
16	廣瀬 雪	0														
17	有野 南	0														
18	萱沼 南海	0														
コーチ	小野 利晴															
		60	4	15	16	52	16	21	14	10	19	1	4	0	18	
		確率	26.7%		30.8%		76.2%			計 29						



戦評

第1P 両チーム、ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。八雲はトスアップを制し速攻から#6の先制点、続いて#5のインサイドプレイから得点と幸先良いスタートを切る。対して富士学苑はプレイに固さが見られ、開始48秒で早くも1回目のタイムアウトを請求。タイムアウト後、富士学苑は#8の3pで初得点するもその後、八雲のドライブイン、#5の3pを止められない。一方、富士学苑は#4を中心に果敢にドライブを試みるも、八雲の固いディフェンスと高さに阻まれ、22対14で八雲リードで終了。

第2P 富士学苑は#7、#8のインサイドにボールを入れたいが、八雲のディフェンスに阻まれ、オフェンスは#4のドライブインと単調になる。八雲は速いパス回しから確実に得点へと結びつけ加点していく。富士学苑はスクリーンプレイからジャンプシュートにつなげるも得点まで結びつかない。残り6分16秒、八雲がタイムアウトをとると、その後、富士学苑の#4が執念のシュートを決め、28対20と一桁に差を縮める。しかし、八雲の#5の連続得点もあり40対24で前半を終了する。

第3P 八雲は確実に加点していく。一方、富士学苑はインサイドを起点に攻めようとするが中々ペースを握ることができない。それでも粘り強くプレイし続ける富士学苑は残り4分でセットオフェンスから#8が見事なシュートを決める。続けて#4#6がジャンプシュートを沈め、このピリオドは一進一退の展開となる。

第4P 第3Pの流れを継続させたい富士学苑はスタックからのオフェンスを展開するが、最終的に八雲の高さを意識したためかシュートの正確性を欠く。八雲は前半からハイレベルなプレイを見せていた#5が技ありのプレイで得点を挙げるなど、主導権を譲らない。富士学苑も最後まで諦めることなく#8がブザービターでシュートを沈めるが、結局71-60で八雲が勝利し、2回戦に進出した。

記入者 高橋綾乃

Ref 竹澤友美

1st U 長谷川隆司

2nd U